

支部長挨拶

短波帯で交信しておりますと、全国あちらこちらから桜の便りが届いております。函館の桜も少しずつツボミがやわらなくなってきております。さて、本日は、令和 7 年度第1回役員会にご参加いただき、ありがとうございました。顔を合わせての会議も、そう多くは開けないと思いますので、本日は、どうぞ忌憚のないご意見をいただければと思います。

さて、本年度は新しく役員になっていただいた方も多いので、私の方から紹介させていただきます。名前をお呼びいたしますので、できればご起立いただき、一言いただければと思います。支部長は引き続き JH8CBH 佐々木が担っていきます。どうぞよろしくお願いします。JA8VKV 小野田さん、JA8WNR 清水さん、JA8WVV 三浦さん、JE8OGI 村田さん、JH8NNW 中澤さん、JI8PLY 山本さん、JK8TYW 西川さん、JK8XBR 船橋さん、JM8RWB 池内さん、JM8UTW 池田さん、JM8UUY 岩井さんの計12名のスタッフで運営して参ります。どうぞよろしくお願いします。

昨日のロールコールでもお話しましたが、新しいスタッフとの横の連携を大切に、また、会員の皆様の協力を得ながら、「参加して良かった」と思えるような企画を推進して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

令和 7 年4月 6 日

令和 7 年度第 1 回役員会

1 支部長挨拶(役員紹介を含む)

2 参加者自己紹介

JA8VKV JA8WNR JH8NNW JI8PLY JK8TYW JJ8UDA JK8XBR
JM8RWB JM8UUY JH8CBH

2 報告事項

- | | |
|-----------------------------|----|
| (1) 令和 6 年度年度末反省について | P2 |
| (2) 令和 6 年度会計決算、令和7年度予算について | P6 |
| (3) 会員数の動向について | P8 |

3 協議事項

- | | |
|--------------------------------|-----|
| (1) 令和6年度支部運営方針について | P10 |
| (2) 支部内規について | P16 |
| (3) 役員の役割分担について | P18 |
| (4) 津軽海峡コンテストについて | P19 |
| (5) フォックスハンティングについて | P26 |
| (6) 北海道ハムフェア特別局の運用(摩周丸を含む)について | P30 |
| (7) 非常通信伝達訓練について | P35 |
| (8) ロールコールについて | P44 |
| (9) ホームページ及びメーリングリストについて | P46 |

4 その他

令和 7 年4月6日
＜JARL 渡島檜山支部＞

令和6年度の年度末反省について

1 アンケートの概略

アンケート母数 182 回答(紙、ネット、電話)75 回収率 41.2%

支部会員名簿(JARL より支部長に届く)を見ると会員のうち、私が一度も交信したことのないという方も4割ぐらいいる。また、今回のアンケートについて送料節約のため、手配りもした。「アマチュア無線をやっている家＝アンテナ」というイメージであるが、アンテナが上がっていない家が多数あった。普段、アマチュア無線が日常の中にあるわけではない。カードもおそらく来ない。でも JARL 会員でいてくださっているということへの感謝の気持ちを感じた。JARL の会員であることを思い起こすには、年に4回の JARL NEWS となるのであろうが、その他にも、支部からの情報提供も欠かせないものであるのかと感じた。

昨年度は支部長が代わり、支部運営方針も変わったこと、また、会員に数多くの御心配事をかけたこともあり、しっかりと反省を取り、それを踏まえた上で、令和 7 年度を迎えることが大切だと思い、役員会で共通理解をしたうえで、このような形でアンケートを取ることにした。

結果は別紙のとおりである。点数は、非常に良いを+2、良いを+1、あまり良くないを-1、良くないを-2と点数化し、計算した。例えば情報提供のところでは、 $27 \times 2 + 36 \times 1 + 0 \times (-1) + 1 \times (-2)$ で 88 点 それをわからないを除く $27+36+0+1=64$ で $88 \div 64 = 1.375$ で、小数第 3 位を四捨五入し 1.38 とした。

また、分散は、個々の値から平均値を引きその2乗を全て加算し、サンプル数で割ったものである。分散が大きいということは、評価が分かれているということである。

集計表では平均が良い(平均が1)以下の物について、赤字で表示し、また、分散が 1.3 を超える物について赤字で表示した。

2 令和 6 年度支部運営について

文書記述についていくつか紹介する。表現については、編集してある。

- ・50 周年は節目に行うことができ、よかった。
- ・ML は、炎上扱いあったが同好の集まりとしては不自然さを感じた。
- ・支部長は、周りに気を遣い過ぎている。
- ・役員皆様の積極的な活動が強く心に残る一年でした。
- ・支部役員の業務分担がなされていない。信用できない支部運営である。

- ・役員の人選に課題があった。(複数)
- ・役員構成の改善が望まれる(複数)
- ・今後は様々なツールでコミュニケーションをするのもどうだろうか。
- ・公開の役員会も時として少数に振り回されることも考えられる。風通しが良いのは良いことだ。

支部長としての支部運営に関わる反省と令和 7 年度に向けて

役員体制において、厳しい評価をいただいた。今回役員の入替わりがあったが、会員の皆様には、アマチュア無線を盛り上げていこうという気持ちで引き受けていただいた方なので、暖かい気持ちをもって活動に参加していただければと思う。また、役員も責任をもって活動していただくようお話ししていきたい。支部役員も含めた全会員が、「アマチュア無線を楽しみ、普及させていく」という目標をもって、活動できるようリーダーシップを執っていきたい。

3 令和 6 年度の事業反省について

文書記述についていくつか紹介する。表現については、編集してある。

- ・たくさんの行事を企画運営していただき、ありがとうございました。(複数)
- ・OHS での書き込みが一部内容に偏っていたように思う。
- ・ホームページが見にくいので改善してほしい(何件か)
- ・役員の不適切な行動が見受けられた(複数)
- ・若者を生かせるような企画も必要
- ・支部大会で不手際があったので、次年度は改善してほしい(複数)

支部長としての令和 6 年度事業に関わる反省と令和 7 年度に向けて

まず 50 周年であるが、長い間支部運営に関わって参りましたので、私の中では 50 周年はどうしても外せないという思いがあった。皆さんにご負担ご無理をおかけしましたが、一定の評価をいただくことができ、実施して良かったと思います。このような周年行事を実施しているのは渡島檜山支部のみのようである。素晴らしい伝統は、後世に伝えていくことも、現支部長としての責務と思っている。

支部大会についても、私の中では、かなり原案は考え、支部役員会でも検討したが、思ったように人を動かすことができなかった。計画に重大な欠陥があったということになる。令和 7 年度については、反省を生かし、会員の皆さんが笑顔でお帰りになれるような大会にしていきたい。

アマチュア無線の非常時に対する備えについては、津波浸水区域が広範囲にわたる渡島檜山支部地域においては、重要な事項であると考えられる。現に災害が起きた時にアマチュア無線が役に立ったという例は、携帯電話が普及している現在でも数多い。実践を学びながら、また、行政とも連携しながら、当支部の特徴ある活動として「何かあったら、自分にはアマチュア無線がある」という意識を持てるような事業を行っていきたい。

支部役員について、意思疎通が綿密でないために、会員の皆様にご心配をおかけしたことをお詫び申し上げる。令和 7 年度も入れ替わりがあったが、打ち合わせをしっかりと行い、スムーズな支

部運営を心掛けたい。

ロールコール、メーリングリスト、ホームページなどは、会員の皆さんのご意向を聞きながら、また、技術的にできる範囲で、改善していきたいと考える。

また、支部大会前夜祭、50 周年祝賀会、新年会などの評価も良かったとは言えない。いわゆる「飲みニケーション」についても、皆さんが参加しやすい状況を、か考えていくことが大切だと考える。

4 令和7年度の事業について

文書記述についていくつか紹介する。表現については、編集してある。

- ・手伝わないわけではないが、会員としてコキ使われた。
- ・手が回らなくなるのであまり事業を増やさない方がいい。(複数)
- ・非常通信について、行政に負担をかけないように。
- ・新しい行事に取り組む渡島檜山支部を誇りに思います。
- ・体験運用についてはぜひ力を入れてほしい(複数)
- ・フォックスハンティングは、免許のない方も参加できるような手立てを考えてほしい。
- ・ML の参加範囲に問題がある。

支部長としての令和7年度事業に関わる方向性

- ・基本的には、地域のアマチュア無線の発展に全力を傾注するのが支部長の第一の務めだと思っているので、できる施策は積極的に進めたい。ただ、一つの計画を実施するには、役員、多くの方の協力をいただくことになるので、一つ一つの事業については、しっかりした私からの方針と、役員・会員の皆さんとのお考えの合意形成ができた上で、進めていきたいと考える。
- ・フォックスハンティングについては、さほど高い評価とはならなかった。(やらない方がいいという評価ではない)この事業については、以前より、復活を望む声が複数あったので、実施を考えている。ただ、加齢に伴い、たくさんの距離を歩くのがゆるくないなどのことも配慮にいれながら、毛行けくしてみたいと考える。
- ・非常通信、北海道新幹線開業 10 周年特別局事業について「良くない」と回答された方が多かったので、ご意見を伺えればと思う。

- ・支部大会では、役員内の役割り分担・連携が上手くいっていなかった。後始末などは会場のみんなで作るといい。今年度はリーダーシップを執って人を動かしてほしい。
- ・フォックスハンティングについては、参加人数、高齢化に伴うハンティングの困難さなどがあげられると思う。復活の要望が多かったこともあり、範囲を狭めるなどの工夫をしながら、一度やってみて、その反省を受けて、継続事業とするかどうかを判断していく。

	とても 良い	よい	あまり 良く ない	よく ない	わ か ら な い	平 均	分 散
--	-----------	----	-----------------	----------	-----------------------	--------	--------

平均値

R 6 運営

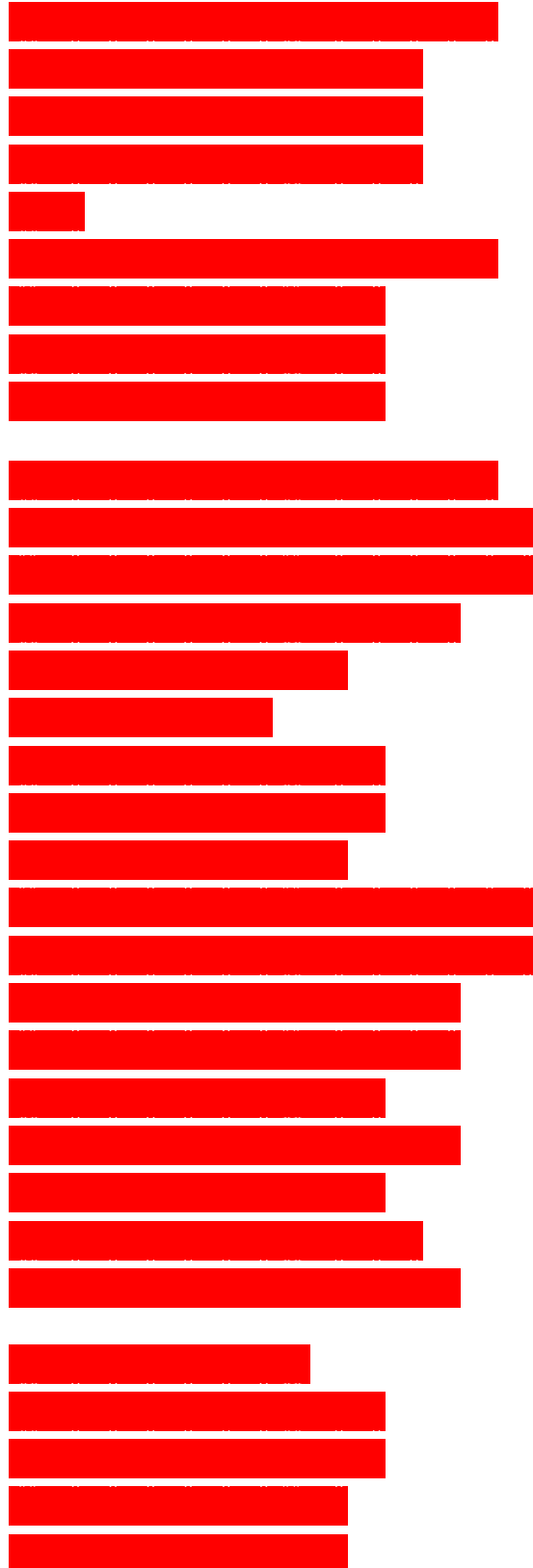
情報提供	27	36	0	1	7	1.38	0.42
運営方針	18	36	3	1	13	1.16	0.65
情報公開	17	32	3	1	17	1.15	0.69
支部費	15	24	0	3	29	1.14	0.98
役員体制	6	25	13	6	20	0.24	1.66
役員対応	21	34	0	1	15	1.32	0.43
会議	18	22	3	3	25	1.07	1.23
非常通信	11	26	2	2	30	1.02	0.90
50周年	22	27	4	3	15	1.09	1.15

R6事業

ロールコール	20	24	1	1	25	1.33	0.61
ガイダンス	14	18	0	0	38	1.44	0.25
科学の祭典	20	22	0	0	29	1.48	0.25
支部報	23	38	1	1	8	1.29	0.49
前夜祭	8	21	2	2	38	0.94	1.03
支部大会	14	24	6	4	23	0.79	1.50
青森	11	26	1	2	31	1.08	0.82
防災フェスタ	11	25	1	3	31	1.00	1.05
祝賀会	12	22	2	4	31	0.90	1.39
記念誌	26	27	0	1	14	1.43	0.47
いるか	25	18	0	2	26	1.42	0.78
年越し	13	23	0	1	34	1.27	0.52
ZOOM	15	22	1	1	32	1.26	0.65
新年会	7	22	2	1	38	1.00	0.75
消防本部	15	21	0	2	33	1.24	0.81
ビギナー	13	33	0	3	20	1.08	0.81
H P	18	37	3	1	10	1.15	0.64
M L	18	28	3	0	20	1.24	0.55

R 7 新規事業

フォックス	10	33	6	2	19	0.84	1.00
体験運用	16	37	4	1	12	1.09	0.70
摩周丸運用	18	30	8	0	15	1.04	0.89
非常通信	14	36	2	5	13	0.91	1.17
新幹線特別局	16	32	5	3	14	0.95	1.12



令和6年度 渡島檜山支部報告書

		本部長	支部長	支部会計							
					渡島・檜山支部						
			令和6年4月～6月			令和6年7月～9月		令和6年10月～12月		令和7年1月～3月	
科 目		6年度予算額	第1四半期額	累計額	第2四半期額	累計額	第3四半期額	累計額	第4四半期額	累計額	
前 年 度 繰 越 高		103,302	103,302	103,302	228,822	103,302	203,937	103,302	131,630	103,302	
収 入	支 部 費	125,520	125,520	125,520	0	125,520	0	125,520	0	125,520	
	賞 典 収 入	0	0		0	0	0	0	0	0	
	寄 付 金 収 入	0	0		20,000	20,000	11,000	31,000	0	31,000	
	受 取 利 息	0	0		0	0	0	0	0	0	
	雑 収 入	10,000	0		44,286	44,286	8,616	52,902	1,309	54,211	
										0	
										0	
小 計		238,822	228,822	228,822	293,108	293,108	223,553	312,724	132,939	314,033	
支 出	会 議 費	6,000	0	0	2,300	2,300	1,500	3,800	0	3,800	
	催 物 費	60,000	0	0	40,121	40,121	85,821	125,942	8,324	134,266	
	渉 外 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	通 信 費	38,000	0	0	29,039	29,039	0	29,039	320	29,359	
	交 通 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	消 耗 品 費	10,000	0	0	3,678	3,678	1,424	5,102	1,528	6,630	
	事 務 印 刷 費	5,000	0	0	8,069	8,069	0	8,069	2,460	10,529	
	コ ン テ ス ト 費	5,000	0	0	3,528	3,528	2,100	5,628	0	5,628	
	賞 典 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	非 常 通 信 費	5,000	0	0	2,436	2,436	1,078	3,514	0	3,514	
	諸 会 費	15,000	0	0	0	0	0	0	0	0	
	雑 費		0	0	0	0	0	0	0	0	
小 計		144,000	0	0	89,171	89,171	91,923	181,094	12,632	193,726	
次 期 繰 越 高		94,822	228,822	228,822	203,937	203,937	131,630	131,630	120,307	120,307	

会員よりの寄付

50周年記念誌 82521円

令和7年度 渡島檜山支部報告書

本部長	支部長	支部会計

渡島・檜山支部

			令和7年4月～6月		令和7年7月～9月		令和7年10月～12月		令和8年1月～3月	
科	目	7年度予算額	第1四半期額	累計額	第2四半期額	累計額	第3四半期額	累計額	第4四半期額	累計額
前 年 度 繰 越 高		120,307	120,307	120,307	130,307	120,307	130,307	120,307	130,307	120,307
収 入	支 部 費	129,370	0	0	0	0	0	0	0	0
	賞 典 収 入	0	0		0	0	0	0	0	0
	寄 付 金 収 入	20,000	10,000	会員からご寄付いただきました。	0	0	0	0	0	0
	講 習 会 収 入	0	0		0	0	0	0	0	0
	受 取 利 息	5	0	新しく入った項目です。	0	0	0	0	0	0
	雑 収 入	10,000	0		0	0	0	0	0	0
										0
										0
小 計		279,682	130,307	120,307	130,307	120,307	130,307	120,307	130,307	120,307
支 出	会 議 費	6,000	0	0	0	0	0	0	0	0
	催 物 費	60,000	0	0	0	0	0	0	0	0
	渉 外 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通 信 費	38,000	0	0	0	0	0	0	0	0
	交 通 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消 耗 品 費	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 務 印 刷 費	5,000	0	0	0	0	0	0	0	0
	コ ン テ ス ト 費	5,000	0	0	0	0	0	0	0	0
	賞 典 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	講 習 会 費	0	0	新しく入った項目です。	0	0	0	0	0	0
	非 常 通 信 費	5,000	0	0	0	0	0	0	0	0
	諸 会 費	15,000	0	0	0	0	0	0	0	0
	雑 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計		144,000	0	0	0	0	0	0	0	0
次 期 繰 越 高		135,682	130,307	120,307	130,307	120,307	130,307	120,307	130,307	120,307

令和 7 年 4 月 6 日
<JH8CBH>

J A R L 渡島檜山支部の概要について

会員種別	2025 年 3 月	2024 年 6 月	増減
社団局	4	4	0
個人会員	180	180	0
家族会員	5	5	0
複数コール持ち	1	1	0
准員	28	31	-3
総計	218	221	-3

考察

- ※このうちライフメンバー（以前は終身会員と呼称～一定の会費を支払うと以後の会費は免除される。すでにこの制度は廃止）は、59 名（うち正員は 34 名）ほどおり、准員の多くがライフメンバーである。
- ※ライフメンバーの会員は、JN の受け取り、QSL 転送以外の全ての権利を有している。選挙権もある。（追加の会費を払うことで、全ての権利を有することができる）
- ※ライフメンバーの中には、アマチュア無線をやっていない方が多くいると考えられる。支部からの照会にもお返事を頂けない会員が多い。しかし、正会員でいるということは、無線局の免許は更新されている。
- ※会員数は、現状維持をしている。もう少し細かく見ると、会員を辞められる方もいる一方、新規開局及び新しいコール以外にも、新規に会員になっている方もいる。
- ※准員は、無線局の免許状が切れ、自動的に会員から准員に移行されたものである。
- ※今回のアンケートについて、函館・七飯・北斗は手配りしたが、アマチュア無線用のアンテナが上がっていない家も多く、無線から遠ざかっていると考えられる。その一方、JARL 会員でいてくださるわけで、今後も情報提供をし、機会があればオンエア、支部行事などへの参加も期待していきたい。
- ※サイレントキーの情報は、支部からの情報提供時に把握できることが多く、確認できたものについては、会員課に情報を届けている。

支町別会員数（令和7年3月） 准員を除く数字

渡島	市町	会員数	檜山	町	会員数
	函館市	124		上ノ国町	1
	北斗市	17		江差町	2
	七飯町	11		厚沢部町	2
	鹿部町	2		奥尻町	3
	森町	3		乙部町	0
	八雲町	9		せたな町	1
	長万部町	4		今金町	4
	木古内町	5			
	知内町	2			
	福島町	0			
	松前町	0			

令和7年4月6日

令和7年度 JARL 渡島檜山支部運営方針

1 支部運営方針の基本

- (1) 伝統の JARL 渡島檜山支部のこれまでの活動を引継ぎ、支部大会にて、会員に活動報告と、活動方針を説明する機会を設け、支部としての責任を持った運営を行う。
- (2) 現にアマチュア無線を楽しんでいる方が、より一層楽しめるような研修会や懇親会などのイベントを企画する。
- (3) 新しくアマチュア無線に出会う方、またその昔にアマチュア無線を楽しんでいた方が、アマチュア無線の楽しさを得ることができるようイベントを企画し、渡島檜山支部のアクティビティーが上がるような、JARL 会員が増えるような活動を行う。マスコミなども活用して、これからアマチュア無線に出会うであろう方との縁を積極的に作っていく。
- (4) アマチュア無線の社会貢献に鑑み、関係機関・自治体町内会と連携した非常通信体制の整備に努める。
- (5) 会計について、特別会計については、JARL の基本方針に基づき、一般会計に繰り入れた。予算は、可能な限り、個人に還元するのではなく、支部運営、会員の増強に使っていききたい。会計については、いつでも公開に応じることができる姿勢とする。交通費については、他支部の情報を集め、可能であれば考慮していききたい。また、事業におけるスタッフの飲み物、弁当（上限を決めて）なども、考慮していく。

2 具体的な活動内容（既存の事業、再開事業）

(1) 支部大会・ハムの集いについて

9月14日（日）に昨年と同じく、北斗市農業振興センターの実施を計画している。ハムの集いに置いては、北海道総合通信局の方に、電波監視、市場に出回っている電波を使った商品の電波特性などの話を予定している。

また、抽選については、ハンディトランシーバーとし、対象を JARL 会員であり（今回改定）、実際に使っていただける方としたい。

(2) 青少年のための科学の祭典について

昨年に引き続き、参加していく方向性である。一方期日、予算などもはっきりしていないため、実際参加できるかどうかは、状況をみて判断したい。昨年の FM ラジオはとても好評であったので、続けたい思いがあるが、値上がりしているということである。 昨年度¥2510 現在¥2980

若手の指導者の養成

(3) フォックスハンティングについて

今年度6月に試行的に復活させたい。会員の平均高齢化などもあり、走り回るなどの状況がきついこともあり、実施内容については吟味していく。協議終了後、焼肉懇親会をしていきたい。

(4) ロールコールについて

数年続いている事業であり、今後も継続する。開催日程は、毎月の第一土曜日の午後8時を崩さないこととしたい。

キー局については、役員、会員を含めて、できるだけ多くの人に経験していただくよう配慮する。また、お話が苦手という方に対しては、「チェックインのみも歓迎」ということを最初にアナウンスすることとしたい。

(5) 非常通信伝達訓練について

2mのシンプレックス、そして、レピータ利用については、管理団体とも連携を図り、利用できる状態になっている。北斗市の本庁舎、分庁舎にアマチュア無線のためのグラウンドプレーンが設置されていることから、災害合同訓練などに使わせていただくことで、北斗市にとっても支部にとっても有効活用と考える。また、函館市とも災害時に必要に応じて、協力体制をとることができる事を確認した。北斗市、七飯町も含めて、訓練に案内するなど、先方の負担にならないよう連携を取っていききたい。

また、非常通信ボランティアの活動は、アマチュア無線の社会奉仕という観点からも大切であると考え。災害時、「協力できる方が協力できる範囲で」と原則としながらも、研修も行い、危機意識を持てるようにしていきたい。

(6) 支部コンテストについて

「48時間は長い（他コンテストはほとんどが24時間以内）」という反省に基づき、9月6日(土)21:00～7日(日)21:00までの実施としたい。集中して参加できるようにすると共に、PR活動を行い、参加者を確保していきたい。

また、ルールについて、参加部門を全シングルバンドとマルチから、HF、V・UHF（VUのシングルもあり?）、マルチ部門とするなど、見直しも考えたい。

(7) 津軽海峡コンテストについて

従前通り5月10（土）、11日（日）で実施したい。青森県と十分連携しながら計画を立てている。青森県支部とも話し合い、今年度から賞状については、紙で発行することにした。

支部対抗では3年連続して、青森県支部に優勝を譲っている。JARL会員数は青森県支部の方が渡島檜山支部の約2倍となっているが、これまで、6回ほど優勝している。今年度は、渡島檜山支部が優勝し、優勝旗を津軽海峡を渡らせたいと考える。

(8) 青森県支部との交流について

津軽海峡コンテストを始める前年あたり、つまり二十数年前から続いている交流である。それぞれの支部大会の前夜祭及び当日に参加するものである。一時は、かなりの局が行き来していたが、だんだん参加者は、減りつつある。旅費・宿泊費は各自持ちとなることから強制はできないが、伝統の交流について、特段の配慮をお願いしていく。

(9) アマチュア無線に関する講座について

昨年はビギナーズセミナーと言う形で、実施した。新しい方、これから、アマチュア無線をやろうとする方を対象とするもの、また、私たち自身が、より深くアマチュア無線を楽しむためということもあり、新しいデジタル通信方式、電子QSL、コンテスト集計の電子化、高い周波数での運用、アンテナの製作、また伝対象をビギナーとしたが、これからアマチュア無線を始める人にとっては難しかった。以前蔦屋でやったような、これから無線を始めようとする方を対象とするようなセミナーなど、対象を明確にしてすみわけをした方がいい。

統的なモールス通信など、授業は有のではないかと思います。ミニ講習会も含めて、随時検討していきたい。

(10) 支部報について

支部大会に合わせて発行したい。反省の冒頭に述べたが、普段あまり電波を出していないという方にとっては、支部報は、唯一、会員と支部がつながる情報である。今年度も内容を工夫し、発行していきたい。支部報については、ダウンロード、郵送のいずれも選択できるようにし、全ての会員に情報が届くようにしたい。

(11) モールス講習会について

通信士の街函館を持つ渡島檜山支部にとっては、かつてはモールス通信がとても盛んな支部であった。このことを受けて支部では二十年以上前から、支部主催、支部共催によるモールス講習会を開催してきた。本年度も支部事業に位置付け、冬季に講習を実施したい。令和6年度は、ZOOMで行ったが、支部会員の参加動向なども把握し、後日検討していきたい。

(12) 監査指導について

ガイダンス局の運用を始め、日常もワッチし、コールサインの送出などを呼び掛けていき、クリーンなアマチュアバンドを目指す。オーバーパワーなどにも監視の目を向けていきたい。また、正しい運用などについて、随時呼びかけていく。

また、バンド内の不審な局については、情報を収集し、必要に応じて、総合通信局などとも連携をしていく。

(13) 講習会への支援

講習会スタッフと連携をしながら、講習会の実施に協力していく。また、開局の相談、ビギナーズセミナーなど必要に応じて開催していきたい。

アマチュア無線の社会貢献に結び付けながら、災害時の通信体制をより強固なものにするため、モデル地区を設けながら、町会・自治会などに団体での免許取得などを促し、その活用の基盤づくりを進めたい。

現在は、齋藤さん、西川さん、鍋嶋さん、松平さん、佐々木で対応

3 新規事業、再開させたいと考えている事業

(1) フォックスハンティング

既に述べた通り

(2) 特別局の運用

特別局は、支部の様々な観光や事業などのPRになる一方、無線仲間が集い、通信技術の向上を図ることではとてもいい機会となる。また、体験運用などの機会としていきたい。これまで定期的に回って来た8J8CLNは令和5年をもって終了した。

今年度は、北海道新幹線が開業10周年を迎えることから令和8年1月から3月まで特別局「8J8H5K」を計画中である。一方特別局開設審査が厳しくなっていることから、今の段階で確定事項とは言えない状況である。

(3) 体験運用のための公開運用

(2)でも触れたが、アマチュア局の体験運用の機会を、子どもたちが比較的参加しやすい夏休み・冬休みに設けていきたい。

(4) 行政と連携した非常通信訓練・研修

既に述べたが、北斗市との連携、また、無線施設の見学や、救命体験など、様々な観点から研修できる場を作っていきたい。

※地域クラブの再生にも取り組みたいが、なかなか難しいところもあり、長期展望で考えていきたい。

4 一社員として考えていること。

(1) 会員増強に向けて

「カード転送のために入会する」だけではなく、JARLの意義、そして地方本部・各支部がある意義を会員、その他入会を考えている方に発信し、会員数の維持、および増強を図っていく。

(2) JARLの動きに注目していく。

昨年、社員メーリングリストが創設され、理事や全国の社員・支部長に直接思いを伝えられるようになった。さらに、JNや理事会報告、また地方本部会議などの情報に目を通し、会員に情報を提供するとともに、会員の意見を広く聞き、必要と判断する事項については、社員メーリングリスト及び社員総会に上程していく。

5 今後の推進日程について

4月5日(土) 定例ロールコール(キー局 JE8MXZ)

4月6日(日) 第1回役員会 13:00 亀田交流プラザ 小会議室4

5月3日(土) 定例ロールコール(キー局 JA8VKV)

5月10日(土) 第23回海峡コンテスト(～11日) 青森県支部と共催

6月7日(土) 定例ロールコール(キー局 JM8RWB)

6月8日(日) フォックスハンティング大会・懇親会 10:00 四季の杜公園予定

6月15日(日) フォックスハンティング大会・懇親会(予備日)

6月20日(金) 北海道ハムフェア特別局運用(～29日)

6月22日(日) 社員総会(支部長出席)

6月28日(土) 北海道コンテスト(～29日) 北海道地方本部事業

6月28日(土) 北海道ハムフェア特別局公開運用～29日メモリアルシップ摩周丸

7月5日(土) 第2回役員会

7月5日(土) 定例ロールコール

7月6日(日) 非常通信伝達訓練・救命講習会 基地局・講習会場所は選定中

7月21日(月) アマチュアガイダンス局運用～9月13日

8月2日(土) 定例ロールコール

8月3日(日) アマチュア無線体験のための公開運用

8月23日(土) 東京ハムフェア(～24日) 連盟事業

8月24日(日) 青少年のための科学の祭典(日程未確定)

8月31日(日) 渡島檜山支部報発行

9月6日(土) 定例ロールコール
 9月6日(土) 第33回渡島檜山支部コンテスト～7日 時間短縮
 9月13日(土) 支部大会前夜祭
 9月14日(日) 第50回支部大会(北斗市農業振興センター予定)
 9月20日(土) 北海道ハムフェア～21日北海道地方本部事業
 9月28日(日) JARL 青森県支部大会参加
 青森県支部主催 泉野多目的コミュニティ施設(弘前市)
 10月 第3回非常通信研修会(伝達訓練) 期日未定 北斗市と連携
 10月4日(土) 第3回役員会
 10月4日(土) 定例ロールコール
 11月1日(土) 定例ロールコール
 12月6日(土) 定例ロールコール
 12月31日(水)年越しロールコール
 1月1日(木) ZOOMによるモールズ講習会～3/31
 1月1日(木) 北海道新幹線開業10周年記念特別局(未確定) 3/31日まで
 1月3日(土) 定例ロールコール
 1月10日(土) 第4回役員会 新年会
 1月11日(日) アマチュア無線体験のための公開運用
 2月1日(日) 支部運営の評価アンケート実施
 2月7日(土) 定例ロールコール
 3月 北海道新幹線特別局公開運用 新函館北斗駅周辺
 3月7日(土) 定例ロールコール
 3月23日(日) 第5回役員会
 適時 非常通信に備えての機器点検コール
 随時 ホームページの管理
 メーリングリスト(OHB,及びOHS)の管理
 ・メーリングリスト(OHB,及びOHS)の管理
 その他、実施の有無・期日未定のものについては、決まった時点で、随時予定に組み入れていく。

6 役員等について

(1)役員

番号	コールサイン	継続・新規	名前	備考
1	JH8CBH	継続	佐々木 朗	支部長
2	JA8VKV	新規	小野田 伸	
3	JA8WNR	新規	清水 深海	
4	JA8WVV	新規	三浦 雄美利	
5	JH8NNW	継続	中澤 隆行	
6	JE8OGI	継続	村田 隆	
7	JJ8PLY	新規	山本 正巳	

8	JK8TYW	新規	西川 貴博	
9	JK8XBR	継続	船橋 幸三	
10	JM8RWB	新規	池内 陽一	
11	JM8UTW	新規	池田 政人	
12	JM8UUY	新規	岩井 孝宏	

たくさんの方に引き受けていただき、支部の代表として心より感謝申し上げます。「ありがとうございます。」また、支部会員の皆様におかれましても、事業への参加、また、お手伝いなどよろしくお願いします。

(2)相談役

番号	コールサイン	継続・新規	名前	備考
1	JF8NWJ	継続	三澤 洋大	

(3)監査指導委員

番号	コールサイン	継続・新規	名前	備考
1	JR8ARS	継続	宮嶋 終	
2	JA8TMJ	継続	砂山 寿幸	
3	JH8CBH	継続	佐々木 朗	
4	JK8TYW	継続	西川 貴博	

7 情報発信、情報交流について

(1) 支部からの情報提供について

原則として、JN、ホームページ、ML、支部報などとするが、できるだけ最新の情報を届けたいことから、希望者にはその都度、届ける体制でいく。

(2) ホームページについて

JARL からいただいた HP アドレスで運営。JARL から最新会員名簿を取り寄せ、メール、郵送などで知らせる。

<https://www.jarl.com/ohs/>

どの OS からでも見やすいワードプレスなども考慮していく。

(3)メーリングリストについて

これまで通りの運用とする。OHS については、受信のみでよければ、jarl.com での登録も可としたい。

直接役員に伝えるもの、皆さんに伝えるものなど判断の上、活用をお願いします。

また、内容は、アマチュア無線のことであれば、ジャンルを問いません。見る側で取捨選択していただければと思います。

また、登録については、支部の JARL 会員とします。

8 今後の見通しについて

- ・加除修正して、支部運営方針をホームページで知らせていく。
- ・OHB、OHS の加除をしていきます。(その後は随時お受けします)

令和 7 年 4 月 6 日

<JH8CBH>

日本アマチュア無線連盟渡島檜山支部内規

- 第 1 条 本支部は、日本アマチュア無線連盟渡島檜山支部(以下支部)といい、事務局を支部長宅に置き、その組織及び運営等を定める。
- 第 2 条 本支部は、日本アマチュア無線連盟の一組織として、無線通信技術の向上、会員の友好と親睦、災害時の通信の協力など社会貢献に寄与するとともに、アマチュア無線の普及・振興・発展を図ることを目的とする。
- 第 3 条 本支部は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- 1 支部大会の開催
 - 2 アマチュア無線の普及・振興・発展のための事業
 - 3 電波利用の秩序の維持のための事業
 - 4 災害時に備えた非常通信の訓練及び災害時における非常通信の実施
 - 5 会員相互の友好と親睦を図る事業
 - 6 電波利用に関する知識や技能向上を図るための講習会、研究会、競技会の実施
 - 7 支部の活動の情報発信に関わる事業
 - 8 その他、第 2 条の目的を達成するための諸活動
- 第 4 条 本支部の会員は渡島檜山に住所のある JARL 会員とする。
- 第 5 条 本支部には次の役員を置き、その任務は以下の通りとする。
- 1 支部長は、支部の会員や支部役員を把握し、支部の運営を司る。
 - 2 総務幹事は、支部長を助け、支部の総務に関する事務を所掌すると共に、支部役員との連絡・調整を図る。
 - 3 常任幹事は、総務幹事を助け、支部の総務に関する事務を所掌すると共に、支部役員との連絡・調整を図る。
 - 4 会計幹事は、支部長を助け、支部の会計および財産に関する事務を行う。
 - 5 幹事は、支部の各事業を受け持ち、事業の推進に協力する。
- 第 6 条 役員の任期は、支部長の任期に連動し、役員は支部長が任命する。支部長は、必要に応じて、任期途中でも新役員を任命、又は~~罷免~~解任することができる。
- 第 7 条 役員会は、必要に応じて支部長が招集し、本支部の執行に必要な事項を決定する。
- (1)役員会の議事は、役員の意見を聞き、支部長が決める。
 - (2)役員会には、会員のどなたも参加することができ、意見を述べることができる。

第 8 条 支部長、総務幹事、常任幹事、会計幹事を支部四役と称し、危機管理、緊急な事項について協議することができる。この時は、次の役員会に報告し、承認を受ける。

第 9 条 支部には役員他に、協力員を置くことができる。協力員は、役員の指揮のもと、個別の事業の推進に携わる。

第 10 条 支部には役員他に、相談役を置くことができる。支部長は、支部運営にかかわる重要な事項について、相談役に相談を求めることができる。

第 11 条 役員会の内容については、外部に公表することを控えるべきと支部長が判断したもの以外は、公表を原則とする。

第 12 条 この会の組織にJARL渡島檜山支部監査指導委員会を位置づける。監査指導委員は、役員以外からも選出することができる。

第 13 条 事業年度及び会計年度は、日本アマチュア無線連盟定時社員総会に連動する。

第 14 条 支部内規の改定は役員会で行う。

付則2020年11月1日 第二回役員会で決議

付則2024年7月14日 第一回役員会で一部修正

付則2025年4月6日 第6条 罷免を解任に字句修正

役員会に誰でも参加できるというのは続けて構わない。

令和7年4月6日
<JH8CBH>

支部役員体制について

役員で相互に助け合いながら、ご自身のできることをできる範囲でお願いできれば幸いです。

支部の体制について

支部長	JH8CBH
総務幹事	JA8VKV
常任幹事	JH8NNW
会計幹事	JM8UUY

行事の担当者(もちろん支部長はすべてに関わります)

担当行事	担当者
ロールコール	JA8VKV
ML、HP	
コンテスト	JK8TYW
フォックスハンティング	JM8RWB JK8TYW JI8PLY JM8UUY JK8XBR
公開運用・体験運用	JM8RWB JA8VKV
非常通信関係	JH8NNW JK8XBR
科学の祭典	JM8RWB JI8PLY JK8TYW
支部大会	JA8VKV JM8RWB
モース講習会	JI8PLY
特別局	JM8RWB JM8UUY JA8VKV JI8PLY
危機管理	JA8WNR

JH8CBH JA8VKV JA8WNR JA8WVV JH8NNW

JE8OGI JI8PLY JK8TYW JK8XBR JM8RWB

JM8UTW JM8UUY 村田さん、三浦さん、どこか2つぐらいお願いできますか。

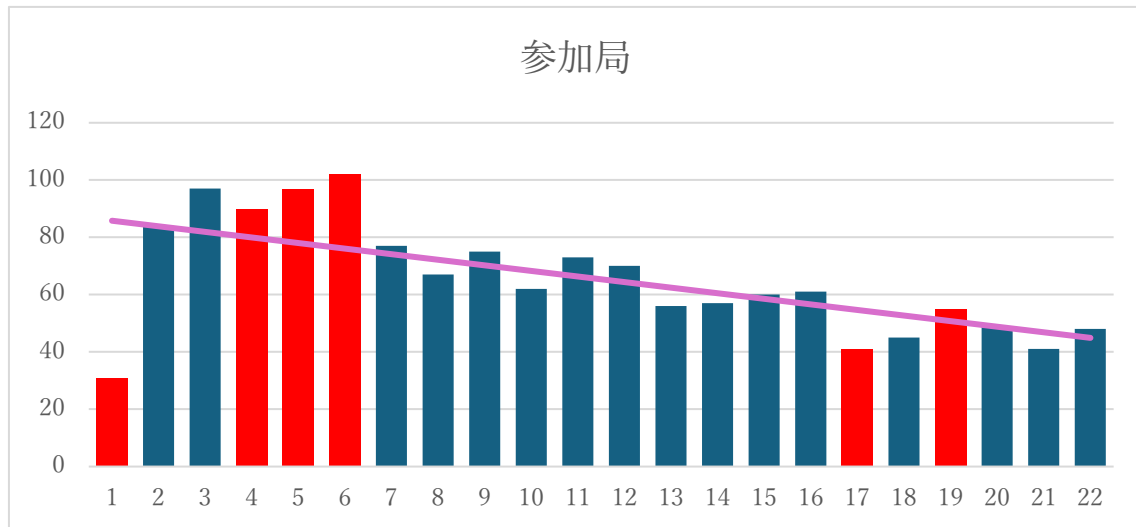
池田さんML及びHPに入っただけですか

令和7年4月6日

<JH8CBH>

津軽海峡コンテストへの参加の呼びかけについて

津軽海峡コンテストは今年で23回目を迎える。第1回から参加していた一人として、参加局数の減少を寂しく思う。



グラフをご覧ください。近似直線を入れるまでもなく、参加数の減少が認められる。赤は、支部対抗で、渡島檜山支部が優勝した年である。

会員数では、青森県支部に到底かなわない。ざっくりとした数字ではあるが、青森県支部は渡島檜山支部の2倍のJARL会員がいる。それでも勝てた年があるということは、私たち渡島檜山支部のアクティビティーの高さと、支部を思う会員の気持ちではなからうかと推察する。

「この3年、負けているので、今年は、優勝旗に海を渡らせたい」

という目標を掲げたい。

そのために

1 事前のPRに力を入れる。

ルール、ログの書き方の丁寧な説明、提出シートの配布などを考える。移動での管内のサービスも勧め、呼びやすい、呼ばれやすい環境を整える。支部役員、支部協力員などへの呼びかけには、特段の配慮を行う。

2 事後

参加局に無理のない範囲でログ提出の呼びかけをしていく。ログの書き方などの指導にあたる。

具体的な活動として

- ・コンテストの楽しさを伝える機会、文書などの作成
- ・ログシート・サマリーシートの書き方について情報を発信する。
- ・電子ログの作成の仕方、関連ソフトの有効な使い方の研修会
- ・コンテスト規約、ログシート、サマリーシートの配布、PR
- ・コンテスト参加者へのログ提出の呼びかけ

全支部役員が参加し 10 局以上と交信するだけでも、支部への貢献は大きいので是非協力をお願いしたい。

第23回津軽海峡コンテスト規約

【開催日時】

2025年5月 10 日(土)18:00～11 日(日)15:00まで

【主催】

一般社団法人日本アマチュア無線連盟 青森県支部

一般社団法人日本アマチュア無線連盟 渡島檜山支部

【参加資格】

日本国内で運用するアマチュア局

管内局: 渡島・檜山地域内、または青森県内で運用する局

管外局: 管内局以外の地域で運用する局

【運用場所の変更】

(管内局)

同一管内の中で移動可能

(管外局)

管内局以外の地域内の範囲で可能。

【使用周波数】

50／144／430／1200MHz帯の4バンド

・運用する周波数については、「JARL コンテスト使用周波数帯」に準ずる。

【参加部門及び種目・コードナンバー】

部門	種目		コードナンバー	
			管内局	管外局
電信電話	社団局マルチバンド		AOS	KGS
	個人局マルチバンド		AOM	KGM
	個人局 シングルバンド	50MHz	AO50	KG50
		144MHz	AO144	KG144
		430MHz	AO430	KG430
		1200MHz	AO1200	KG1200

【交信対象】

(管内局) 日本国内で運用するアマチュア局

(管外局) 青森県内及び渡島檜山地域で運用するアマチュア局

※管内局・管外局とも、同一局との複数回の交信は、同一バンドでは任意の1交信のみ得点として計上を認める。バンドが異なる場合はそれぞれのバンドで任意の1交信のみ得点計上を認める。

【交信方法】

(呼出) 電話「CQ 津軽海峡コンテスト」

電信「CQ TK TEST」

【コンテストナンバー】

(管内での運用局) RS(T)+市郡ナンバー※

(管外での運用局) RS(T)+都府県ナンバー・地域ナンバー※

※市郡ナンバー及び都府県ナンバー・地域ナンバーは別表参照のこと。青森県(02)及び渡島地域(114)、檜山地域(113)の番号はこのコンテストでは使用しない(これらの県・地域では、別に定める市・郡ナンバーを使用するため)。

【禁止事項】

- ・ゲストオペレーターによる運用
- ・個人局の2波以上の同時発射
- ・クロスバンド、クロスモード、レピーターを使用した交信
- ・社団局の同一バンド内における2波以上の同時発射、及び複数地点からの同時運用

【得点】

管内局 ① 津軽海峡を挟む渡島・檜山地域内の局と青森県内の局との交信 3点

② 同一管内局との交信 2点

③ ①及び②以外の交信 1点

管外局 ① 渡島檜山地域内の局及び青森県内の局との交信 1点

【マルチプレイヤー】

管内局 : 各バンドで交信した相手局の異なる市郡・都府県・地域等の数の合計

管外局 : 各バンドで交信した相手局の異なる市郡の数

【総得点】

(各バンドで得た得点の和) × (各バンドで得たマルチプライヤーの和)

【表彰】

参加局数にかかわらず、各部門で管内局5位まで、管外局3位までを表彰する。

集計の結果、同一得点の局においては、最終交信日時の早い局を上位とする。

渡島檜山支部、青森県支部対抗として、管内局の各部門で非支部会員を除いた順位によるポイント(1位:10点、2位:8点、3位:6点、4位:4点、5位:3点、以下 10 局以上交信した参加局:1点)の総得点を決め、それぞれの支部大会で表彰する。

結果は、それぞれの支部のホームページ、及び JARL NEWS(入賞局)で公表する。

入賞者は青森県支部及び渡島檜山支部の支部大会にて表彰する。賞状の紙での発行の希望が多かったため、今年度は紙に戻し、各支部大会の出席者にはその場で、それ以外の方は郵送する。

【提出書類】

○紙ログ・電子ログともに受け付ける。(電子ログ推奨)

○紙ログは、JARL 制定のサマリーシート・ログシート、またはこれと同形式(A4 判)を利用すること。

○電子ログは JARL の「電子ログ作成ツール」やコンテストログソフトの電子ログ作成機能の活用を奨励(JARL 制定の電子ログ ver2.1 を推奨)。

○提出は E メール、郵送にて受付する。

① E メールでの提出

件名はコールサイン(例:JQ7ATB)とすること。提出先メールアドレスまでログデータを添付ファイルとしてではなく、本文に貼り付け送信すること。

② 郵送提出

紙ログについては全て郵送にて、青森県支部宛提出する。

○紙ログ・電子ログ共にバンド毎に集計すること。

○社団局の場合は、コンテスト中に運用した者のコールサイン・氏名・無線従事者資格を記入すること。

【締切】

2025年5月31日(土)(当日消印有効)

※E メールまたは郵送にて提出してください。

【ログ提出先】

○E メール提出の場合

log-tk2025@jarl-aomori.sakura.ne.jp

○郵送提出の場合

今年のコンテストは全て青森県支部へご提出ください。

〒031-0822 青森県八戸市大字白銀町字右新井田道 17 番地 13

岡田 竜也(JQ7ATB)

【その他】

QSL カードの発行については、同バンド、同一モード、同一運用地などの発行を控える、1 枚の QSL カードに複数の QSO を記載するなど、QSL ビューローに優しい配慮をお願いしたい。

【問い合わせ先】

各支部ホームページの「問い合わせ」または、各支部長までお問い合わせください。

(青森県支部)

U R L: <https://jarl-aomori.sakura.ne.jp/>

E メール: tk-test@jarl-aomori.sakura.ne.jp

(渡島檜山支部)

U R L: <https://www.jarl.com/ohs/>

E メール: jh8cbh@jarl.com

(別表)

・市郡ナンバー (管内)

[渡島地域]	函 館 市 0104	北 斗 市 0136	
	上 磯 郡 01021	亀 田 郡 01024	茅 部 郡 01025
	松 前 郡 01067	山 越 郡 01071	二 海 郡 01079
[檜山地域]	奥 尻 郡 01016	久 遠 郡 01028	瀬 棚 郡 01040
	爾 志 郡 01053	檜 山 郡 01059	
[青 森 県]	青 森 市 0201	弘 前 市 0202	八 戸 市 0203
	黒 石 市 0204	五所川原市 0205	十和田市 0206
	三 沢 市 0207	む つ 市 0208	つがる市 0209
	平 川 市 0210		
	上 北 郡 02001	北津軽郡 02002	三 戸 郡 02003
	下 北 郡 02004	中津軽郡 02005	西津軽郡 02006
	東津軽郡 02007	南津軽郡 02008	

・都府県・地域ナンバー (管外)

宗 谷 101	留 萌 102	上 川 103	オホーツク 104
空 知 105	石 狩 106	根 室 107	後 志 108
十 勝 109	釧 路 110	日 高 111	胆 振 112

※札幌市内は石狩地域の区域に含まれるものとします。

岩 手 県 03	秋 田 県 04	山 形 県 05	宮 城 県 06
福 島 県 07	新 潟 県 08	長 野 県 09	東 京 都 10
神奈川 11	千 葉 県 12	埼 玉 県 13	茨 木 県 14
栃 木 県 15	群 馬 県 16	山 梨 県 17	静 岡 県 18
岐 阜 県 19	愛 知 県 20	三 重 県 21	京 都 府 22
滋 賀 県 23	奈 良 県 24	大 阪 府 25	和歌山 26
兵 庫 県 27	富 山 県 28	福 井 県 29	石 川 県 30
岡 山 県 31	島 根 県 32	山 口 県 33	鳥 取 県 34
広 島 県 35	香 川 県 36	徳 島 県 37	愛 媛 県 38
高 知 県 39	福 岡 県 40	佐 賀 県 41	長 崎 県 42
熊 本 県 43	大 分 県 44	宮 崎 県 45	鹿 児 島 県 46
沖 縄 県 47			
小 笠 原 48			

※コンテストナンバーでは大島、三宅、八丈は東京都(10)に含まれる。

※硫黄島、沖ノ鳥島、南鳥島は小笠原の区域に含まれる。

令和7年4月6日

＜佐々木 朗＞

第26回渡島檜山支部フォックスハンティング大会に

0 経過

フォックスハンティングはコロナもあり、しばらくできない状態が続いていた。参加者数が少ないということで、計画が見送られた。しかし、復活と懇親会の開催を要望する声もあることから、復活させたい。

1 目的

- (1)競技を通して、電波の不思議さおもしろさを体験すると共に技術の向上を図る。
- (2)懇親会を通して、支部会員の交流を図る。
- (3)アマチュア無線に対して、その面白さを伝える機会の一つとする。

2 実行委員

実行委員長 佐々木 朗
事務局長 (JK8TYW)
事務局員 (JM8RWB) (JI8PLY)

3 内容 144 の FMで行う。

(1) フォックスハンティング

144MHz FM 2機から出る電波の発信源を
探す。2m と 430 の 2波 430 の 2波検討

(2) 焼肉パーティー

4 参加資格 渡島檜山支部会員

5 期 日 令和7年6月8日(日)

雨天時は6月15日(日)

6 場 所 四季の森公園

7 参加費用 1,300円(傷害保険、ジュース、焼肉、諸経費として)

参加費はおつりのないようコールサインを書いた封筒に入れ、受付する。

8 参加資格 JARL 渡島檜山支部会員、およびアマチュア無線に興味のある方。

2025年6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

- 9 申し込み メール、電話などで、事前に申し込みを取る。
申し込み締め切りは、6月4日（水）

10 日程

- 9:00 役員集合（四季の杜公園駐車場）
- 9:50 参加者集合
- 9:50～10:00 受付
- 10:00 開会式
- 10:15 競技開始
- 11:15 競技終了
- 11:30～12:30 懇親会
- 12:30 後始末、解散

11 競技のルール

- (1) 選手は、1時間内に公園内いるフォックス2頭を探し、カードを取得します。
- (2) 競技時間は、スタートより1時間とし、キツネ捕獲後または、競技時間終了後、スタート地点へ戻ってくるものとします。
- (3) 合言葉により、それぞれのフォックスからカードを受け取ります。
合言葉は「函館山にキツネはいますか」
フォックス 「はい、キツネ(タヌキ)です」
※合言葉が合わない場合は、キツネ（タヌキ）はカードを渡しません。
- (4) 選手は2枚のカードを集めてゴールします。
- (5) キツネとタヌキは、公園内を移動します。
- (6) 順位
 - ① 2枚のカードの番号の和が少ない方を上位とします。
 - ② 同点の場合は若番を持っている方を上位とします。
 - ③ 更に同点の場合はキツネの方の若番を上位とします。
 - ④ 時間内に発見出来ない場合は最終番号を加算します。
- (7) 1位から5位まで入賞とし、賞状を渡します。
- (8) その他、細かい点については、主催者が判断します。

注 意 事 項

- (1) アンテナは、他の利用者に迷惑をかけない範囲で自由とします。
- (2) 選手は他の選手にフォックスの情報を教えてはいけません。
- (3) 選手はフェアに行動し、主催者の指示に従いましょう。
- (4) 選手は、公園の自然を大切にすると共に、事故のないよう気をつけましょう。
- (5) 参加者にはスポーツ障害保険をかけます。

12 用具、準備

- (1) 運営関係～看板、受付用紙、レジュメ、折りたたみテーブル、筆記用具、支部旗、カメラ、マジック、記録発表用紙、賞状（名前とコール以外記入済）、申し込みフォーム作成
- (2) フォックス関係 順位カード 送信機 2 台

13 推進日程

- 4 月 6 日(日) 第 1 回役員会、担当者決定
- 4 月 7 日(月) 四季の杜公園利用確認
- 5 月 3 日(土) 申し込み開始 ロールコールで PR
- 5 月 10 日(日)まで、きつね、たぬき決定
- 5 月 報道機関（道新、函館新聞）取材依頼
- 5 月 アムール、ドリームハムレディオにポスター掲示、ちらし準備
- 6 月 4 日(水) 申し込み締め切り
- 6 月 5 日(木) 傷害保険手続き完了
- 6 月 5 日(木) マニュアル、賞状など、準備完了
- 6 月 7 日(土) 実行委員会（最終チェック）
- 6 月 8 日(日) 当日
- 6 月 9 日(月) 決算終了、残金は支部会計へ
- 6 月 20 日（金）まで JARL NEWS 原稿、CQ 誌ローカルトピック写真送付

14 事前準備

- (1) 全体把握・フォックス依頼 (佐々木)
- (2) 報道関係 (佐々木)
- (3) 四季の杜公園の利用確認 (佐々木)
- (4) チラシ、ポスター、番号札など、フォックス関係準備物 (佐々木)
- (5) 当日のレジュメ関係 (佐々木)
- (6) 送信機関係 (必要なし)
- (7) 賞状、結果発表用紙 (佐々木)
- (8) 傷害保険加入 (佐々木)
- (9) 申し込み WEB (池田)
- (10) OHB、ホームページ掲載 (池田)
- (11) 会計 (岩井)

15 当日の役割

- (1) 全体把握 (佐々木)
- (2) 本部設置 (佐々木)
- (3) 受付 (山本、池内)
- (4) 開閉会式進行 (西川)
- (5) 懇親会進行 (清水)
- (6) ルール説明 (池内)
- (7) ジュース・肉購入 (中澤)
- (8) 会計 (岩井)
- (9) 懇親会 (山本) (佐々木) ()
- (10) 写真 (佐々木)
- (11) フォックス担当 キツネ () タヌキ ()

16 開閉会式

開会式

- (1) 支部長挨拶 (佐々木)
- (2) ルール説明 (佐々木)
- (3) 緒連絡 (佐々木)

閉会式

- (1) 結果発表 (清水)
- (2) 表彰 (佐々木)
- (3) 講評 (佐々木)
- (4) 記念写真 (佐々木)

17 その他

挙否決定は、中止の場合は、午前8時までに、支部ホームページ、145MHzFM 帯及び OHB で流す。決定は、支部長と事務局長で行う。

今後に向けて、アマチュアバンドの受令機、もしくはFMラジオ放送帯の微弱電波（どれだけ飛ぶか）などを使っての一般市民対象のフォックスハンティングも考えたいと思う。

144のFMレシーバーをお持ちの方は、連絡いただきたい。一般の参加者も可能であれば、参加できるようにしたい。

令和7年4月6日

<JH8CBH>

北海道ハムフェア特別局の運用について

1 目的

- (1) 9月21日、22日に札幌市で行われる第8回北海道ハムフェアをPRする機会とする。
- (2) 支部会員の通信技能・アンテナ設営技能の向上を目指す。
- (3) 支部会員の親睦と交流を図る。
- (4) 広く市民にアマチュア無線をPRする機会とする。

2 特別局の概要

- (1) 呼出符号 8J8HAM ポータブル8は付けない(北海道地方本部申し合わせ)
- (2) 運用期間 2025年6月20日(金)～6月29日(日)の10日間
- (3) 免許の種類 移動する局 最大空中線電力 50W 1.9Mhz～(1200Mhz)まで
- (4) 使用無線機 FT-897DS(4アマ以上対応)、IC9100(50W)
- (5) 運用母体 JARL 北海道地方本部

3 運用スタッフ

- (1) 全体総責任者 JH8CBH 佐々木 朗 (JARL 渡島檜山支部長) 090-8277-9744
- (2) 運用者・体験局立会人は、事前に地方本部へ無線従事者免許証番号を届けることとなっている。

4 運用日程

(1) 渡島檜山支部の運用日程及び運用担当

期日	運用形態	備考
6月20日(金)	持ち回り	
6月21日(土)	望洋塾運用	
6月22日(日)	望洋塾運用	支部長社員総会
6月23日(月)	持ち回り	支部長社員総会
6月24日(火)	持ち回り	
6月25日(水)	持ち回り	
6月26日(木)	持ち回り	
6月27日(金)	持ち回り	
6月28日(土)	摩周丸公開運用	北海道コンテスト～29日

6 月 29 日(日)	摩周丸公開運用	
-------------	---------	--

運用に関しては、支部メーリングリスト等で協力を呼びかけ、その後、担当者で、調整する。急遽運用ができなくなった場合などは、早めに運用責任者に連絡すること。

(2)道内の運用日程

渡島檜山支部	6/20(金)～6/29(日)	10 日間
胆振日高支部	7/1(火)～7/10(木)	10 日間
上川宗谷支部	7/12(土)～7/21(月)	10 日間
釧路根室支部	7/23(水)～8/3(日)	12 日間
空知留萌支部	8/5(火)～8/14(木)	10 日間
十勝支部	8/16(土)～8/25(月)	10 日間
オホーツク支部	8/27(水)～9/7(日)	12日間
石狩後志支部	9/9(火)～9/19(金)	11 日間
ハムフェア会場	9/20(土)～9/20(日)	2 日間

5 運用上の留意点

(1) 局の管理・運用について

- ① 局の運用は本連盟会員であって、無線従事者免許証を携帯していること。
- ② 無線機の操作は、各無線従事者の操作範囲内とすること。
- ③ 本連盟会員以外から運用の申し出があった場合、担当の会員が立ち会いのもとゲストオペレータとして運用すること。
- ④ 運用に当たっては、オペレータ、QTH など適宜送出すること。(特に FT8 での運用場所)特にゲストオペの場合そのことを明確にすること。
- ⑤ コンテストへの参加はできるが、書類を提出する場合はチェックログとすること。
- ⑥ 特別局は相手局のカードを必要としないので、そのことを適宜送出すること。
- ⑦ 特別局の免許を受けた無線機を利用すること。
- ⑧ コールサインは、エイト・ジェイ・エイト・ホテル・アルファ・マイクで、「ハム」など省略等のないように正確に送ること。「こちらは」や「DE」をつけること。お手本となるような交信をお願いします。
- ⑨ コールサインには/8(ポータブル8)を付けないこと。送出しないこと。(北海道地方本部ルール)呼出応答に際しては、『こちらは8J8HAM／(ポータブル)函館市』または、『こちらは8J8HAM／(ポータブル)函館市移動』『こちらは8J8HAM 函館市移動』等
- ⑩ QSL カードについては JARL ビューロー経由で一方向的に送付する。SASE も含めダイレクト発送はしないので誤教示のないように願います。
- ⑪ その他、不明点は自分で判断せず、運用責任者に尋ねること。
- ⑫ 電波法を遵守すること。

- ⑬ 感染防止予防から、複数で運用を行う場合、十分気を付けること。
- ⑭ 運用上、その他トラブルが起きた場合は、大小にかかわらず、直ちに運用責任者へ電話連絡すること。

(2) ログの記入について

① ハムログでログを管理する。

万が一に備えて、通信を録音しておくとか、紙にも書くとか、二重の体制をとること。

② ハムログの設定

- ・新規コールでのインストール オプション→データの保守→別コールサイン用にインストール→OK→8J8HAM→OK→OK。これでハムログを閉じる。
- ・新規ハムログの立ち上げ デスクトップにある 8J8HAM を立ち上げる。→はい(Y)。これでデータなしのハムログが立ち上がる。(ユーザーリストや免許状 GETS などは適宜)
- ・新規ハムログの設定 オプション→環境設定→設定2

Remarks1 に %JCC#0104 Hakodate City(函館市) GL:QN01JS%

Remarks2 に %JA8〇〇〇%

※漢字以外は全て半角(スペースも)。OP はつけない。

上記は例です JCC, GL, CALL は各自で入れる事

③データの保存について(次の2つで行うこと)

- ・ファイル→QSO データのバックアップ→フォルダでフォルダを指定→QSO データをコピーする→開始 指定したフォルダにバックアップデータが入っている。HAMLOG.hdb が作られる。
- ・検索→複合条件検索と印刷→先頭から検索・入力順・CSV ファイルにチェック。検索無し。HAMLOG フォルダに LOGLIST.csv が作られる。

④作成された HAMLOG.hdb 及び LOGLIST.csv を管理者にその日のうちに、メールで送信する。QSL の印刷完了(責任者より指示)があるまで、データは消去しないこと。メール送信ができない場合は、責任者の指示を受けること。

⑤わからなくなったら電源を落とさず、そのままにして責任者に連絡すること。

6 リグの受け渡し

- (1)リグを受け取ったら必ず、備え付けられている物をチェックリストでチェックすること。また、同様にリグを引き継ぐ時もチェックすること。
- (2)次の方に確実に引き継ぐまで、その日の運用者が受け渡しに責任を持つこと。できるだけ、前日の夜までに引き継ぐこと。

- (3)受け渡しについては、その日運用する方が、事前に次の方と連絡を取り、どのように受け渡すか(持っていく、取りに来てもらう、中間地点で渡す、送る)などを明確にすること。連絡先がわからなければ、責任者に尋ねること。送料がかかった場合は支部で対応するが、それ以外の輸送費は個人持ちとする。

7 QSLの印刷について

- (1) 印刷は、北海道地方本部で一括して行う。
(2) 運用がし終わった後、ハムログデータで地方本部へ送付する。

8 公開運用について

- (1) 望洋塾 6/21(土)、22 日(日)

支部長のアンテナから同軸ケーブルを伸ばし、望洋塾からオンエアする。

HFのビームについてはバンド内(大きく運用周波数が変わる場合)および、異なるバンドへの移動については、コントローラーパネルの操作が必要となる。土曜日に運用責任者に使用方法を説明する。

日曜日は、支部長は社員総会のため不在となる。

日曜日の運用が終わったら、翌日の運用者に機器を引き継ぐ

- (2) 摩周丸無線室 6 月 28 日(土)、29 日(日)

以前、花と緑のフェスティバル時に毎年運用していた場所である。

事前に関係機関に交渉し、許可はいただいている。

アンテナは、バンザイダイポールと VU の GP とする。細かい部品やパーツがそろっているか事前点検する。また、下見を行い、ロープ、同軸の長さ、電源などを確認する。支部にアンテナ、ポールがあるが、要確認。

事前に登録した運営スタッフ(準備・撤去・運用・管理)には2日分の入場料と弁当代(500 円)を支給する。

9 体験運用について

- (1)事前に立会される方においては、体験局の扱いについての文書に十分目を通しておくこと。
(2)体験者が分かり易いような交信マニュアル的なものを作成する。
(3)体験運用の相手は、誰でもスムーズにいくものではないので、相手の体験局の相手をするということを了解してもらって上での対応とすることが大切である。
(4)体験者及び興味をもってもらった方への模擬交信証、グッズのプレ前途などを考える。

10 役割分担

- ・全体責任者（佐々木）
- ・運用責任者(特別局の割り当て・ログの管理・リグの管理)() ()
- ・望洋塾の2日目(支部長東京)の運営責任者()
- ・摩周丸に関わるアンテナ設営・撤去() () ()
- ・摩周丸における金銭管理()
- ・体験運用に関わる資料の収集・当日の担当() ()
- ・報道機関への連絡・対応()
- ・記録(ビデオ・写真)()

10 推進日程

2月13日	概略決定 済
2月17日	摩周丸打診 済
2月20日	JN 原稿送付 済
4月6日	提案
6月1日	特別局運用者募集開始
6月7日	ロールコールで案内
6月17日	運用者割り当て完了
6月20日～29日	特別局運用
6月20日	摩周丸下見
6月21日、22日	望洋塾で運用
6月28日、29日	摩周丸で運用
6月29日	胆振日高支部へ送付

11 摩周丸への入船について

- (1)下見は、料金が発生しないが、当日はスタッフを含めて入場料が必要
- (2)入館料は、一般 500 円 65 歳以上は半額(250 円)函館市発行のカード必要
- (3)年間券は、一般 1000 円(1 年間有効)
- (4)支部としては、65 歳を超える方には、2 日分 500 円を、それ以下の方は 1000 円を支給する。
- (5)入場券は各自購入し、後ほど清算。65 歳以下の方は、年間券を買った方がお得。65 歳以上の方は、250 円を 2 日分でも、自分であと 500 円出して年間券にするも自由とする。

アンテナの点検については土谷さんをお願いします。

役員においては、特別局・体験局立会者として、無線従事者免許証番号を確認したい。個別にあたります。

令和7年4月6日

<JH8CBH>

非常通信伝達訓練及び救命研修会の実施について

非常時に備えての意識の向上、またアマチュア無線の社会貢献から、少しずつ自治体との連携も深めていく内容とする。

1 目的

(1)非常通信伝達訓練

- ①非常通信訓練を通して、会員のアマチュア無線の社会貢献について、意識を高めていく。
- ②会員が、非常事態に対する無線機器類の整備をすると共に、奉仕する体勢を整えていく。
- ③非常時を含むアマチュア無線の存在価値を広く、地域や市民に知らしめていく機会とする。
- ④アマチュア無線による情報の収集状況を、関係する自治体の方にも視察いただき、協力体制を確立する。

(2)救命講習会

災害に関連して、救命措置を学ぶ機会とする。消防本部より普通救急救命修了証が発行される。

2 日時及び日程 令和7年7月6日(日)

- (1)非常通信訓練 10:00～11:00 頃
主に 145MHz FM(予備として 430 レピータ)
- (2)非常通信の反省 12:30～13:00
- (3)普通救命講習会 13:00～16:00 3時間で修了証発行
実施できそう。10名を確保する。

3 組織

非常通信ボランティア(R7年4月現在 28名)及び近隣のアマチュア局

4 非常通信訓練

(1)目的

- ①非常通信訓練を通して、会員のアマチュア無線の社会貢献について、意識を高めていく。

- ②会員が、非常事態に対する無線機器類の整備をすると共に、奉仕する体勢を整えていく。
- ③非常時を含むアマチュア無線の存在価値を広く、地域や市民に知らしめていく機会とする。
- ④アマチュア無線による情報の収集状況を、災害時の防災協定を結んでいる函館市の総務課の方に参観いただき、協力体制を確立する。

(2) 想定する状況

午前6時に函館平野西緑断層帯を震源とするM7.5最大震度6強の地震が発生。函館市を中心とする渡島地方全域において停電、断水等のライフラインが使えなくなり、優先電話の使用が著しく困難である。函館市総務部災害対策課よりJARL 渡島檜山支部に対し「災害時のアマチュア無線を利用した非常通信の協力約束」に基づく協力依頼が届いた。渡島檜山支部は、10時00分をもって非常通信拠点本部(災害対策本部)に人員を派遣した。また、非常通信ボランティアには、可能な範囲で、避難所へ出向いてもらい、基地局へ情報を送ってもらうようお願いをした。

被害に遭った人々は、早朝より、近くの避難所に集まって来た。その当日の食料や水は、何とか備蓄で補えているものの、通信が確保できないことから、その実態をつかめておらず、食料や水、衣類、毛布などの物資をどのような配分するのが良いか、悩んでいるところである。

(3) 役割分担

①基地局 函館市公民館(護国神社の下) 第3集会室

総指揮 (佐々木)

主オペレータ(清水)

記録 (佐々木)

市役所担当者にも案内する。

②移動局

JARL渡島檜山支部非常通信ボランティア登録者、その他JARL会員

(4) 訓練の内容

①非常通信の定義

非常通信(地震、台風、洪水、津波、雪害、火災、暴動その他非常の事態が発生し、又は発生するおそれがある場合において、有線通信を利用することができないか又はこれを利用することが著しく困難であるときに人命の救助、災害の救援、交通通信の確保又は秩序の維持のために行われる無線通信をいう。(電波法第52条)

②今回の訓練と法的な解釈

今回の訓練においては、非常事態が発生した後、有線通信を利用することができない状況のもとで、災害の救援や交通通信の確保ということになる。

したがって、今回災害対策本部に隣接して設置(仮定)される我々の基地局が、避難所とのやりとりを通して、電波法第52条の「災害の救援」を主眼としたい。災害情報の収集についても、本訓練の目的の一部とするが、その主たる任務は消防・警察の方で行うものとする。

また、令和4年2月に総務省より出されたアマチュア無線の社会貢献活動での活用に関する基本的考え方においても、非常災害時(訓練)においても、アマチュア無線の有効な活用が掲げられている。

③通信の方法

基地局と避難所との通信を本訓練の要とする。避難所からの情報を災害対策本部に知らせると共に、災害対策本部からの支援状況について、避難所へ伝えるものとする。また、基地局より、災害対策本部に正確かつ迅速に、避難所の状況を報告するものとする。

本年は基本はシンプレックスの通信を基本とするが、レピータの活用の予備通信手段として、想定しておく。レピータは、439.66MHzのJR8WWを使う。その管理者の海峡クラブ佐藤氏(JA8CUH)には了解を得る。

④基地局の設置

基地局1 函館市市役所 屋上にアンテナを仮設する。

ア 基地局は担当者の無線機を利用する。

イ 使用周波数は、439.66MHz のレピータとする。

ウ 移動局の割り振り

一般の参加局(ボランティア登録局及びその他の参加局)については、可能な限り、地元の避難場所、避難指定の会館などに赴き、ハンディトランシーバー若しくは、モービルトランシーバーから参加するものとする。移動が難しい場合は、自宅からのオンエアも可とする。

⑥反省会の実施

訓練・後始末終了後、基地局、移動局の参加者は、集合し、反省を行う。

(5) 通信内容

内容は、避難所の災害支援に関わる内容とする。実際には、食料や毛布の充足状況など細かな内容も付加されることが予想されるが、訓練であること、多くの方に参加してほしいという時間短縮の観点から、報告事項を絞った。

①非常通信ボランティア局への対応

ア 非常通信ボランティアの確保

非常通信ボランティアは現在 41 名が所属している。個別に案内を出し、訓練への参加を打診する。

イ 予想される避難所への協力員の配置

函館市及び近郊の指定避難所などへの移動を勧める。

予め配置が決まった参加局については、報告様式を事前に渡し、それに想定される状況を記入し、メモを見ながら正確に情報を伝達するものとする。

※これらの場所には、訓練があることを知らせていないので、駐車などには配慮すること。また、ベストがある場合は着用する。できれば交信の様子を写真を撮る(撮ってもらう)

②函館市総務課防災担当との連携

函館市防災係担当と連携し、会場の利用・見学の依頼を行う。

③通信内容について

基地局(以下サブチャンネル)「クンレン、クンレン、クンレン、こちらは、J〇8〇〇〇です。只今より JARL 渡島檜山支部非常通信伝達訓練を行います。本日早朝の道南地方を襲いました地震の影響を受け、道南一帯は停電し、通信インフラなども機能しない状況にあります。各避難所ボランティアにおいては、避難所の状況について、報告をお願いします。(繰り返し)尚、通信においては、次の事項について、順次報告をお願いします。

ア 了解度

イ 現在位置(町名及び避難所名)、

ウ 無線設備状況(ハンディ or 車載器)及びアンテナ

エ 避難所の様子

- ・避難者の人数男性〇名、女性〇名、うち子ども〇名。

- ・特段に怪我や支援が必要とされる人数及び状況

- ・すぐに必要な物資など

(繰り返し)

尚、訓練は一時間程度で終了いたします。最後に非常通信体制の解除を行いますので、それまで、聴取をよろしくお願いします。

それでは、クンレンを始めます。参加局は応答下さい。」

移動局 A「こちらは、JA〇〇〇〇／8」

基地局「クンレン クンレン クンレン JA8〇〇〇／8 こちらは J〇8〇〇〇／8 了解度5です。そちらの避難所情報を送って下さい。どうぞ。」

移動局「クンレン クンレン クンレン J〇8〇〇〇／8 こちらは JA8〇〇〇／8 函館市銭亀町 銭亀町自治会館移動です。了解度、ハンディ機と付属ホイップアンテナからのオンエアです。避難所の様子であるが、現在当

会館には、男性8名女性7名計15名が避難しております。子どもはいません。怪我や支援の状況であるが、うち老人の男性が左足をガラスで切り出欠しておりましたが、現在までに応急処置を済ませております。必要物資であるが、ポータブルのストーブはあるものの、灯油がありません。灯油の配給を急ぎます。以上報告します。J〇8〇〇〇/8 こちらはJA8〇〇〇/8 どうぞ。」

基地局「クンレン クンレン クンレン JA8〇〇〇/8 こちらは J〇8〇〇〇/8 オペレータ〇〇。〇〇さん、銭亀町自治会館の情報、男性〇名、女性〇名、子どもなし、応急手当完了。灯油の件、全て了解いたしました。引き続き、聴取体制を取り、情報収集に努めて下さい。JA8〇〇〇/8 こちらはJ〇8〇/8 さようなら」

移動局 A「クンレン クンレン クンレン J〇8〇〇〇/8 こちらは JA8〇〇〇/8。了解しました。引き続き情報収集に努めます。J〇8〇〇〇/8 こちらはJA8〇〇〇/8 さようなら。」

基地局「引き続き行います。クンレン、クンレン、クンレン、こちらは、J〇8〇〇〇/8 オペレータ〇〇です。どうぞ。」

移動局 B「こちらは、JH8〇〇〇/8」

基地局「クンレン クンレン クンレン JA8〇〇〇/8 こちらは J〇8〇〇〇/8 了解度は5です。そちらの避難所情報を送って下さい。どうぞ。」

移動局 B「クンレン クンレン クンレン J〇8〇〇〇/8 こちらは JH8〇〇〇/8 基地局の了解度は5. 北斗市ノ渡 市ノ渡公民館移動です。車載機20ワット、アンテナは5/8ラムダモービルホイップです。こちらには、男性14名女性18名計32名が避難しております。そのうち子ども6名おります。整然と避難し、特異状況はありません。物資ですが、水や食べ物の備蓄が非常に低くなっております。今晚までは持ちますが、明日以降の飲食物が不足しております。配給よろしく願います。以上報告します。J〇8〇〇〇/8 こちらはJH8〇〇〇/8 どうぞ。」

基地局「クンレン クンレン クンレン JH8〇〇〇/8 こちらは J〇8〇〇〇/8。〇〇さん、市ノ渡公民館の情報、男性14名、女性18名、うち子ども6名、整然と避難している件、飲食物の配給の件、全て了解いたしました。引き続き、聴取体制を取り、情報収集に努めて下さい。JH8〇〇〇/8 こちらはJ〇8〇〇〇/8 さようなら」

移動局 B「クンレン クンレン クンレン J〇8〇〇〇/8 こちらは JH8〇〇〇/8。了解しました。引き続き情報収集に努めます。J〇8〇〇〇/8 こちらはJH8〇〇〇/8 さようなら。」

(このような流れで進める)

(全てが途切れたら、)

基地局「クンレン、クンレン、クンレン、こちらは、J〇8〇〇〇/8。他に参加局がないようですので、引き続き、433.66MHz レピータでも情報を受けます。」

基地局「クンレン クンレン クンレン J〇8〇〇〇 こちらは、J〇8〇〇〇/8 どうぞ」

2m基地局「クンレン クンレン クンレン J〇8〇〇〇/8 こちらは、J〇8〇〇〇 了解度5です。どうぞ。」

基地局「それでは、そちらに入っている情報を送ってください。」

2m基地局「クンレン クンレン クンレン J〇8〇〇〇/8 こちらは J〇8〇〇〇 それでは情報を送ります。

1件目 JA8〇〇〇からの情報です。八雲町栄浜センターからの情報です。同会館には、男性3名女性6名計9名が避難しております。そのうち子ども1名おります。特異状況はありません。毛布の不足を訴えております。どうぞ。

基地局「1件目了解。続いて送って下さい。」

2m基地局「2件目………」

2m 基地局「こちらに入っている情報は以上です。」

基地局「2m 基地局ありがとうございました。最後にレピータ参加局ありませんか。」

基地局「ないようなので、これにて、非常通信体制を解除し、非常通信伝達訓練を終了いたします。この後、参加していただいた各局と体制解除の確認をし、訓練を終わります。」

基地局「クンレン クンレン クンレン JA8〇〇〇/8 こちらは J〇8〇〇〇/8、以上

で非常通信体制を解きます。お疲れ様でした。さようなら。」

移動局「クンレン クンレン クンレン J〇8〇〇〇/8 こちらは JA8〇〇〇。お疲れ様でした。さようなら。」

以下、参加局と繰り返し。

基地局「なお、この後、函館市消防本部5階ホールに置いて、午後1時より、本日の非常通信の反省会、それに引き続いて救命講習を行います。各局の参加をお待ちしております。こちらは、J〇8〇〇〇さようなら」

※通信のポイント 呼出し、応答に際しては、「クンレン」3回前置するものとする。
通信の終わりには「さようなら」を送信する。

④通信の記録等

ア 移動局については、今回の訓練内容を的確に正確に送信するために、手元にメモを置き、送信するものとする。

イ 基地局については、移動局からの情報を的確に受けるため、報告用紙を作成し、適宜、市の防災担当に引き継ぐものとする。また、ICレコーダー等で記録を残すこととする。

ウ 通信の様様をビデオに撮り、記録化する。

5 反省会 消防本部ホールを借用(可能であれば)

(1)目的

①非常通信伝達訓練の反省を行い、次年度、また、災害発生時により迅速に情報を伝えることができるようにする。

②非常通信ボランティアとしての士気を高める機会とする。

(2)方法

①会場準備 机15 椅子30(うち、机1. 椅子1は前 司会者、記録)

②会場でのアンケート記入(入場時に配り、その場で回収する)

期日、内容(訓練内容、オペレータの技能、レピータ利用、2mでの運用)、事前準備、当日の人員配置、反省会のあり方、研修会との抱き合わせ、その他)

③全体会議

ア 進行 () 記録 () 受付アンケート配付 ()

イ 内容 ・支部長挨拶

・協議

・反省会のまとめの確認

その後救命講習会となる

7 推進日程

4月6日 原案検討

6月7日 非常通信ボランティアへの案内

6月7日 ロールコールで周知

6月10日頃 市役所へご挨拶

6月10日 非常通信ボランティア登録局へ連絡

7月5日 函館市公民館下見

7月6日 当日

7月中旬 報告書の公表

8 基地局で準備するもの ()に担当者

(1)145Mhz、430MHzFMのハンディ機 ()

必要に応じてバッテリー

- (2) 基地局外部アンテナ一式()
- (2) 記録用紙及び筆記用具()
- (3) 函館市街地図
- (4) 記録写真撮影()

9 役割分担

(1) 事前

- ① 函館市役所との連携、発送 (船橋、中澤)
- ② 非常通信ボランティアへの案内作成・発送(佐々木)
- ③ JARL NEWS 原稿執筆 (佐々木) 済
- ④ レピータ管理者への挨拶 (佐々木)
- ⑤ 報道機関への連絡 (佐々木)
- ⑥ ハムショップなどへの掲示 (佐々木)
- ⑦ ホームページでの周知 ()
- ⑧ 反省会、講習会の場所 (佐々木)
- ⑨ アンケート用紙作成 (佐々木)

(2) 当日

① 非常通信伝達訓練

- ア 全体指揮・責任者 (佐々木)
- イ 基地局オペレータ (清水)()

② 反省会議

- ア 会場準備()()()
- イ 司会() 記録() 受付() 記録()

③ 講習会 消防に一任

- ア 最初と最後の挨拶()

(3) 事後

- ① 関係機関への礼状の発送()
- ② 報告書の作成、公表()
- ③ 支部報の原稿依頼()

10 予算(支部予算より)

関係機関及びボランティア登録局との文書利用料

110 円×30 通程度 3300 円

11 その他

救命講習会を臨時に実施してもらえることは可能である。ただし、人数が 10 名は確保してほしいということである。事前にPRし、人数が集まる見通しがあれば実施するがそうでなければ、反省会は別の場所、救命講習会は実施を見送ることとする。

12 最後に

災害は、いつ、どこで、どのような形で襲ってくるか、予想がつかない場合が多い。得体の知れない災害に対してではあるが、我々アマチュア無線を愛好する者としては、それぞれが可能とする範囲の中で、ボランティア精神を持ち、人命の救助、災害の救援などを行うという意識を持つことが大切である。

また、支部としても、非常通信実施に備えて、支部としての組織体制、救援体制をマニュアル化し、現在協定を結んでいる函館市との連携を確認すると共に近隣市町村との協定を結び、アマチュア無線の社会貢献をしていきたいと考える。

平成 7 年 4 月 6 日

<JH8CBH>

JARL 渡島檜山支部ロールコールの実施について

JARL 渡島檜山支部定期ロールコールは、平成 31 年 2 月 2 日を第 1 回とこれまで継続されて実施してきた。ロールコールは、支部の活性化に結びつく大切な事業と位置づけ、今年度も継続していきたい。

1 目的

- (1) JARL 渡島檜山支部の活性化を図るとともに、無線へのアクティビィーを高め、会員同士の交流の場とする。
- (2) 自分の無線機の調整をする機会とする。
- (3) 通信技術の向上を図る。

2 主催 JARL 渡島檜山支部

3 日時 毎週第一土曜日午後8時より

4 参加対象 アマチュア局(支部管内管外、JARL 会員の有無は問わない)

5 担当者 ~~JH8CBH~~ JA8VKV

6 会員への周知

- (1) 145MHz 帯 FM による事前周知
- (2) メーリングリスト OHS、また支部HPによる周知
- (3) その他
- (4) チェックインのみも歓迎する。

7 ロールコールの記録

ロールコールキー局担当者は、次のことを記録し、主担当者に引き継ぐ

- (1) 参加者 コールサイン及び氏名 総参加者数
- (2) 連絡事項
- (3) その他特記事項

担当者は資料を整理し、ML、HP等で会員に報告する。

8 当日の進行原稿

(1)呼出

- ・「これより、145.〇〇にて、JARL 渡島檜山支部2mFM ロールコールを開催致します。このロールコールは、JARL 会員、非会員、管内、管外 関係なくご参加頂きます。チェックインのみも歓迎いたします。コールサイン、RS レポートのみになりますので、是非、お気軽にご参加下さい。こちらは、キー局、J〇8〇〇〇。宜しく、お願い致します。 次回、145.〇〇 にて、再度コール致します。」

(2)参加者受付

- ・「では、これより、JARL 渡島檜山支部2mFM ロールコールを開催致します。参加局は、コールください。こちらは、J〇8〇〇〇どうぞ」

(3)挨拶、連絡事項

- ・支部長挨拶
- ・役員からの連絡事項
- ・皆さんからの連絡

(4)会員の近況

- ・「皆様から、一言ずついただきます。最初に、……」
- ※チェックインのみの方は、マイクを渡さない。

(5)参加局同士の連絡

- ・「参加者同士の連絡はございませんか。参加局でまだつながったことのない局などいれば、この後 145.〇〇で、待機お願いします。」など。

(6)ファイナルコール

- 「以上をもちまして……」

9 司会局(キー局)の輪番について

キー局は、一般会員にもお願いする。翌月のロールコールキー局はできるだけ早めに決定する。

10 その他

- (1)支部役員については、特段の参加努力をする。
- (2)支部役員は、新規にたくさんの方に参加していただけるよう、PR活動を進める。

11 当面のキー局

4 月 5 日 石中さん(JE8MXZ) 5 月 3 日 小野田さん(JA8VKV)
6 月 7 日 池内さん(JM8RWB)

令和7年4月6日
<JH8CBH>

HP、メーリングリストの扱いについて

1 目的

インターネットを使ったホームページ、メーリングリストは、情報伝達および情報交流に有用な手段である。

その一方、文字情報のみであるため、書き手の気持ちと受け取り手の気持ちが時には全く異なる形になり、人間関係のトラブルになりかねないという諸刃の剣であるともいえる。以下の点を申し合わせながら、楽しいアマチュア無線生活に役立てるメディアとしていきたい。

2 ホームページ

現在、JARL から提供されているサーバーで動いている。私のホームページに関する理念は、情報をできるだけ速く、正確に伝えるということ、そして公の情報であるということである。ホームページの基本(CGI を使ったアンケートも含めて)は、習得しているが、新しい技術には追い付いていないという現状である。迅速性を失わず、かつ見やすいような技術は取り入れたいと思う。

3 メーリングリスト

いずれも支部のメーリングリストとし、支部の JARL 会員を参加対象者としていたい。

(1)OHB 支部からの大切な公情報 現登録数85

支部行事、または、JARL、地方本部から流れてくる重要なお知らせについて流していく。返信はできない仕組みになっている。JH8CBH のサーバーで運用している。

(2)OHS 会員同士の交流の場 現登録数 81

それぞれによって、ほしい情報、いらない情報はさまざまである。アマチュア無線に関することであれば、原則 OK でいきたい。わかりやすいタイトルをつけることによって、受け手は、必要であれば読み、不要であれば、削除すればいいと考える。ほしい、あげる。あったら売ってほしいなども金銭上の利益とは考えられないので、出すのも OK としていたい。

一方、昨年度においても、支部や個人を特定しての批判の投稿も目立った。表現の

自由ではあるが、事前に支部の方へ連絡いただければ、別な形での対応ができたものもあると思う。説明が必要なことは、きちんと説明をする。(あくまでも趣味の会の集まりであり、匿名での一方的なクレームには対応しない。)

アマチュアコードをもう一度確認し、優しさを持った投稿にご配慮いただければ幸いです。

サーバーは JARL のものを使っている。

OHS, OHB については、4 月上旬をめどに、会員の意思表示に基づき、入れ替え作業を行う。これまで登録していた方で継続を希望する方は、知らせてほしい。また、登録、削除はそれ以降も随時行う。

匿名の投稿は、扱わない。

匿名の投稿が目につくようになったため、支部の問い合わせフォームをメールまたは電話に変更する。

役員でラインワークスを試してみる。

時折 50 メガの FM AM などでの通信なども試み、普段あまり使われていない周波数の楽しみ方も広げていく。